

岡山畜産便り 1964.10・11

祝 創 刊

県総合畜産だより 祝創刊 15 周年

第5回全日本豚共進会迫る!!

と き・昭和 39 年 11 月 12 日～16 日

ところ・愛知県豊橋市豊橋公園内

岡山県より 6 頭出品

種 豚

ヨークシャー種	(未軽産)	上房郡北房町	大槇新太郎
〃	(〃)	総社市長良	坪井 幸一
ランドレース種	(〃)	総社市溝口	横田 清吉
〃	(若 雄)	芳田郡鏡野町	井上 礎邦

肉 豚

ヨークシャー種	(去 勢)	英田郡美作町	松本 多穂
ランドレース種	(〃)	〃	和田 一明

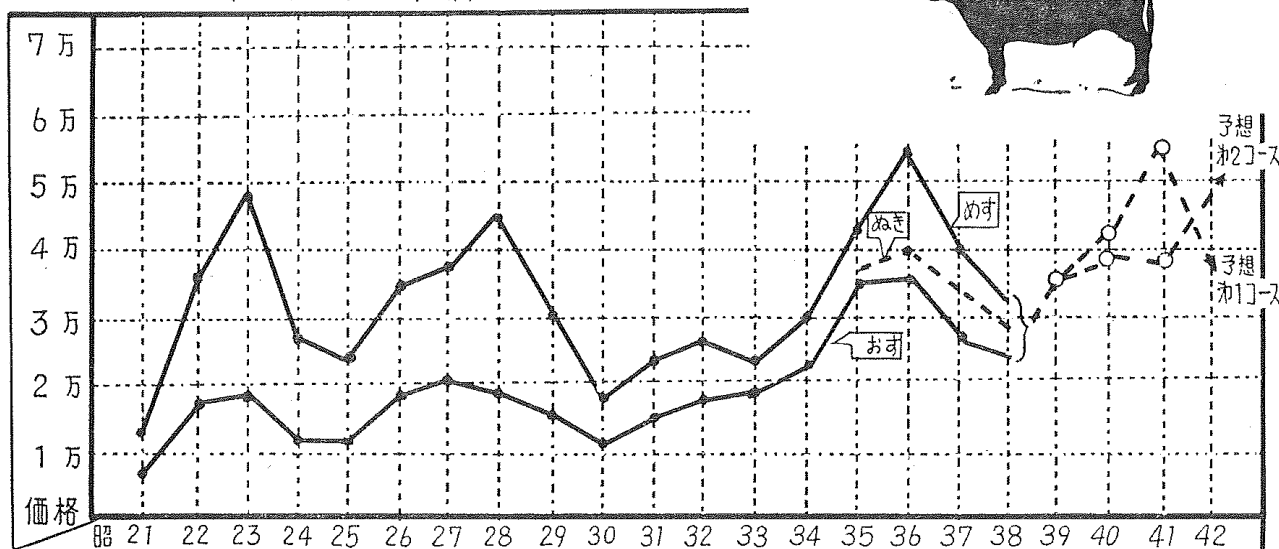
全豚共に出品される豚の成績如何は、本県の養豚振興に多大の影響を及ぼすとみられるので最優秀の成績を挙げるよう、県下関係機関よりの御支援をお願いします。

野線からみた和牛価格予想…… 昭和 39・40 年は高い？

今こそ農家の生産増強と安心感を高めることが急務

株式や穀物投資では、野線が有力な資料の一つのようだ、そこで手許の資料を年度別にグラフ化し、今後の子牛価格を予想してみた。これも当るも八卦、当らぬも八卦かな……高値は必至。

子牛平均価格表



39年より40年にかけて子牛価格は反騰間違いない

理由 高値後の反落は、通常2年（23年の高値は、24、25年と安く、28年の高値は29、30年とそれぞれ2年連続に安かった）で反騰している。従って36年の高値も37、38年と2年安かったので本年から高くなるろう。

39、40年と高いが、41年もつづいて高いと42、43年にかけて反落しよう。しかし、39、40の上げ方のテンポがおそく、41年に一押し押目をつくれれば、42、43年と再び堅調場面が展開されよう。

理由 26、27、28年と3年連続上げたあと、29、30年と急反落しており、34、35、36年の上げの場合も37、38年と急反落している。しかし、31、32年の上げのように2年上げて33年に軽く一押しした場合更に34、35、36年に連続堅調であった。

参考 (イ) 価格の見通しとして、子牛価格のみを予想することは危険である。総ての物価は、経済の動きに左右される為、一般景気を参考にすべきであると思う。このことは過去の株式市況の野線の曲線と和牛子牛価格の曲線の相関関係を十分検討することも無駄でないと思える。

(ロ) 子牛の生産頭数を見ると、高値の翌年は頭数が増え、安値の翌年は頭数が減っている傾向になっている。

(ハ) 子牛価格の上昇するについても一年を通じ、これまでは下半期9月から上昇しており、また安い場合、5月の不需要期が一番低い傾向があった。（上向期 S28年9月、S36年9月、下向期 S25年5月、S30、S31の5月）『新しい和牛の経済性について』を参照されたい。

(ニ) 過去の実績をもって未来を見通すことも参考になるが、時代は絶えず変り、経済情勢も需要についても変遷しているので新しい角度と高い視野において検討されることを望み、とくに農業自体が“静かな革命期”にあるので、ことさら状況は複雑と思われる。